

\\ しもやまの魅力や地域の活動を **知って** **届けて** **広めよう** //

WE しもやま LOVE



三河湖観光センターが生まれ変わります

下山支所では世界ラリー選手権の開催を契機に、下山地区の最も知名度のある観光地「三河湖」のさらなる魅力の発信と下山地区の観光振興を目的に、三河湖観光センターの再整備事業を進めています。

この事業では、古くなった建物の建て替えに合わせて、駐車台数の増加などによる観光客の利便性の向上だけでなく、イベントなどで多目的に利用できる屋根付きの広場を整備する予定です。

また、観光地としての利用に限らず、地域の皆さまが日常的に集い、新しいなにかが生まれる場所となるような仕掛けも考えていきたいと思えます。

新しい三河湖観光センターは、令和6年10月に工事が完了する予定です。

【お知らせ】

昭和54年に建物が完成した現在の三河湖観光センターは、令和5年11月30日をもって営業を終了し、44年間の歴史に幕を閉じます。

令和6年2月頃から同10月末までの間、工事に伴い、駐車場を含む三河湖観光センター敷地内への立ち入りはできません（ポート利用者の歩道は確保）。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



▲現在の三河湖観光センター



▲初代三河湖観光センター
三河湖観光開発協会が運営していました



三河湖園地の利用について

近年、三河湖園地内にて、夜間に騒音を出すなどの迷惑利用が多発していることから、園地出入口の施錠を以下のとおり実施します。ご理解ご協力をお願いいたします。

期 間：令和5年9月末～11月末

閉鎖時間：金曜日 午後5時～翌土曜日 午前8時30分まで

土曜日 午後5時～翌日曜日 午前8時30分まで



わくわく事業団体の紹介 Vol.3 しもやまロケットプロジェクト

●しもやまロケットプロジェクト（代表：伊藤 いぶき）

「どうせ無理」をなくすプロジェクト。本物と同じ構造のモデルロケットを自分でつくって自分で飛ばせるロケット教室を、毎月開催しています。

自分で作ったロケットが大空へ飛ぶと、小さな自信が生まれます。参加するのも子どもなら、スタッフも子どもです。

子どもたちの織りなす世界は本当に素晴らしいです。子どもたちと思いきり笑い合えるロケット教室へ是非どうぞ。

○直近の開催予定間

【日時】10月9日（祝）、11月23日（祝）、12月17日（日）

※時間は10：00～12：30

【開催場所】下山中学校

【対象】小学3年生～大学生

※兄弟姉妹で参加の場合は小1・2もOK

※豊田市民以外も参加可能



▲お申込みはこちらから



▲最新情報は各種SNSでチェック



▲わいわい楽しくロケットを作ります



▲ロケットは一瞬で空に飛んでいきます



しもやまっ子にラリーの魅力伝えました！

8月3日（木）、交流館講座の一環として、放課後児童クラブの子どもたちを対象にラリー講座を開催しました。当日は、下山支所の旧議場が会場となり、しもやまラリー実行委員会の元ラードライバー黒木浩次さん（花山自治区）を講師に迎え、ラリーの基礎知識などをお話いただきました。

質問タイムでは、興味津々の子どもたちから、20分以上も質問が途絶えず、大いに盛り上がりました。

今後も、しもやまラリー実行委員会では、ラリーを通じて、子どもたちをはじめ、住民の方々が地域の魅力を再認識し、下山地区に愛着を育んでもらえるよう、イベントや講座などを企画していきます。

地域一体となって、ラリーを応援しましょう！



▲「ラリー大好き！」の掛け声とともに記念撮影



夏の風物詩、地域がつながるしもやま夏祭り開催

令和元年8月以来4年ぶりとなるしもやま夏まつりが、8月13日（日）に開催されました。

下山商工会青年部や手づくり工房 山遊里、キッチンカーなどが出展し、多くの住民が集まりました。

祭りの前には、有志が下山基幹集落センターで、盆踊りの特訓を連日行いました。

また、7月、8月は各自治区の夏祭りが開催され、地域に昔懐かしい夏祭りの雰囲気に戻ってきました。



▲盆踊りの様子



▲夜空を彩った花火



▲盆踊りの練習風景

【しもやま観光協会 河合会長のコメント】

4年ぶりの「しもやま夏まつり」、皆様も待ちわびていたと思います。台風7号の接近により、開催が危ぶまれましたが、皆さんの気持ちが天に通じ、無事開催できました。締めの花火は、下山の空に色とりどりの花が咲き、楽しんでいただけたと思います。今後もたくさんの人に楽しんでいただけるイベントなどの開催をして参ります。地域の皆様には、引き続きご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



河合会長



▲田平沢自治区（7月29日）



▲阿蔵自治区（8月12日）



▲羽布自治区（8月16日）

【高須区長コメント】

4年ぶりの夏祭りが皆様のご協力のお陰で無事開催することができました。いつもの顔、久しぶりの顔、そして新しい顔が一同に。沖縄民謡、盆踊り、ミニショーから花火まで、楽しい夏の夜が過ごせました。

【菅田区長コメント】

豊田市指定の無形民俗文化財「阿蔵地域念仏踊り」を今年も披露できました。久しぶりの開催に、多くの方に参加いただき、素敵な夏祭りとなりました。これからもイベントなどを通じて地域の絆を大事に守っていきたいと思います。

【安藤区長コメント】

4年ぶりの開催となりました。久しぶりの開催で無事運営できるか不安もありましたが、若手が出店を頑張ってくれたり、とても賑やかな祭りとなりました。老若男女で踊る下山名物「京都の女の子」は、下山らしい祭りの雰囲気を再確認させてくれました。



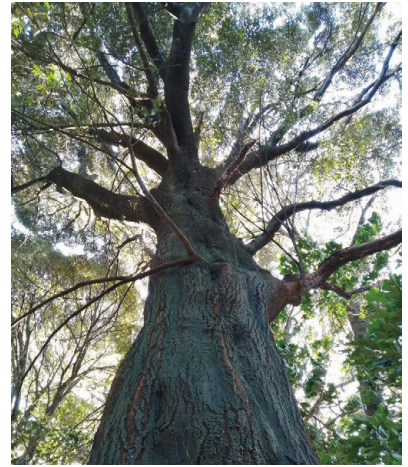
下山の自然あれこれ「③木がつく地名（前編）」

国道301号を豊田市街地から下山方向に走り、根引峠を越えて花沢町に入るとすぐに「切二木（きぶたぎ）」というバス停があります。この漢字を逆から読むと、木を二つ切る、という意味です。バス停の近くには「椎ノ木（しいのき）」「榎木前（えのきまえ）」という地名があり、どれも木がつく名前だなあと考えていたら、やはり関係がありました。

なかむらひろこさんの民話 2013年5月号「五輪さん（花沢町）」によると、切二木の地名は、この地のシンボルだった2本の大木を切り倒して開墾したことが由来。切られた大木は、椎ノ木と榎。切った人は、松平氏5代目長親（ながちか）の息子 利長（としなが）。この伝承がそのまま地名になって、現在でも使われているのです。ちなみに、下山地区のシノキはツブラジイ（コジイ）のことです。

ツブラジイは、高さ20～25mに達する常緑の高木で、もこもことした大きな樹冠（じゅかん、木の上で枝や葉の集まった部分）を作り、遠くから見るとブロッコリーのような樹形をします。雄花と新葉は黄色で、5月上旬の開花期は、樹冠全体が黄金色に輝いて見えます。

森は300～500年程度の単位で、内部の樹種を入れ替えながら変化していますが、ツブラジイはその最終段階に優占する樹木（旧豊田市周辺の暖温帯エリア）です。寿命が長く大木になるため、神社やお寺のご神木としても、各地で大切に守り育てられてきました。（次号に続く）



▲ツブラジイ：大木を下から（上）と5月上旬の開花風景（豊田市内）



連載コラム

「せつつが行く！ Vol.4」



“三層会”とは？

トヨタ自動車のものづくりの現場をけん引する技能系職制の団体。職制の違う3つの団体が一致団結して物事を行うときに呼ぶ通称。

7月2日（日）、こんなに晴れなくても・・・と言いたくなるくらいの快晴。炎天下の中、大沼自治区が進める「八沢の丘ひろば整備プロジェクト」に参加してきました。旧小学校跡地を再整備し「丘の上から笑い声が聞こえてくる広場」と地区内外の方々が交流を図りながら広場づくりを行っています。この日はトヨタ自動車の三層会から16人が整備に参加。伐採木の片付け・皮むき、草刈り、柵の杭打ちなどを実施。作業後には、ものづくりの得意な会員さんから、遊具の設計について提案をいただき、地域の皆さんと真剣に話し合う姿がありました。

日にちは変わり、8月6日（日）には、秋に開催予定のピザパーティーの試行会が行われました。生地から作り、持ち寄った野菜をトッピングして焼くとプロ並みの味に。参加者から「おいしい！」の聲が上がりました。「将来的に八沢の丘ひろばが、テントや食材を持ち寄り、人が集る憩いの場になるといいよね」と地域の方々の熱い想いが伝わってきました。



▲三層会と自治区の皆さまで記念撮影



▲おいしいピザができました



しもやまバスを使って、お出かけしましょう！



しもやまバスは、下山地区内を片道200円で利用できる便利な地域バスです。通学や買い物など多くの方に利用していただいています。

今後も地域の移動手段として運行を継続するため、積極的な利用をお願いします。

ご自宅近くにバス停がない方や、今あるバス停を移設したい方は、お気軽に、下山支所へご相談ください。一定の条件をクリアできれば新設、移設が可能です。

【しもやまバスの利用方法】

- ・ 91-1200へ電話し、次の内容を伝える（利用する1時間前まで）
 - ①乗る・降りるバス停、②利用日時、③氏名、人数、連絡先
- ・ 予約時間に、乗るバス停で待機



【実施中のキャンペーン】

- ・ 中高生 100円キャッシュバック
 - ・ 運転免許返納者 100円キャッシュバック
- ※乗車時に「運転経歴証明書」を提示



イベント開催情報 湖と森の音楽会 in 三河湖園地

概要：三河湖の豊かな自然の中で音楽鑑賞

日時：10月28日（土）午前11時～正午【アイルランド音楽】

11月4日（土）午後2時～3時【ヴァイオリンデュオ】

場所：三河湖園地（羽布町エス小屋2-1）

※雨天時：香恋の館（羽布町鬼ノ平5）

入場料：500円（小学生以下無料）

申込方法：①申込フォームまたは

②申込票をメール（karen@hm12.aitai.ne.jp）、
FAX（90-4121）で 香恋の館 へ提出

申込期間：10月13日（金）必着

【問合せ】香恋の館 TEL：0565-90-4120



▲10月28日（土）
申込みフォーム



▲11月4日（土）
申込みフォーム

下山地区データ

人口
4,040 人
(-129)

男性
2,005 人
(-61)

女性
2,035 人
(-68)

(8月1日現在)
※（）は前年同月比
世帯数
1,641 世帯
(-29)

発行情報

編集・発行

豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）
毎月15日発行

お問い合わせ

TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344
MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

地域記者を募集！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！





〔 社協下山支所だより 〕

まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp

身体も心も元気で暮らそう



介護者のつどいを開催しました



令和5年7月20日に介護者のつどいを開催しました。今回は、コロナウイルスの分類も5類に下がったため、外出も兼ねて、スマイリングが運営する『キッチンラボ』で昼食を食べた後、エムパークでお買い物をしてきました。

みなさん良いリフレッシュになったようで、帰るときには『楽しかった！』『ストレス発散になった！』『久しぶりに出かけることができよかった！！』と帰られました。今年度はあと、2回程度開催を予定しています。詳細については、回覧等で周知をしますので、みなさんのご参加お待ちしております。



9月は『アルツハイマー月間』です

1994年9月21日、スコットランドのエジンバラで第10回国際アルツハイマー病協会国際会議が開催されました。

会議の初日であるこの日を「世界アルツハイマーデー」と宣言しました。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、アルツハイマー病等に関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらす事を目的として、様々な活動を行っています。



認知症啓発には オレンジ色が使われています！

「柿色」をしたオレンジリングは、認知症サポーターの目印です。江戸時代の陶工・酒井田柿右衛門が夕日に映える柿の実の色からインスピレーションを得て、作り出した赤絵磁器は、ヨーロッパにも輸出され、世界的な名声を誇っています。

同じく、「日本発」「認知症サポーターキャラバン」のオレンジリングが世界のいたるところで、「認知症サポーター」の証として、認められおの思いかから作られました。なお、温かさを感じさせるこの色は、「手助けします」という意味を持つといわれています。

*現在、認知症サポーターへのオレンジリングの配布は廃止され、サポーターカードを配布しています。

昨年同様、今年も、まどいの丘包括支援センターでは、9月の1ヶ月間、下山交流館にて、認知症についての掲示等を行っています。写真は昨年度の様子です。下山交流館では、認知症に関する本も設置されています。ぜひ、この機会に、認知症の理解を深め、正しい知識を身につけてください。

9月21日はアルツハイマーデーです♪





加茂一揆と唸り松

昭和十六年の下山村誌から

民話で唸り合をした松と紹介した大沼街道の唸り松は宇尼羅松と言って大人五人でも抱えられない程の立派な松だったようだ。

この松は大沼城 田代城が武田軍に落とされ 医王院(易往寺)も焼かれたという時 家康の祖松平太郎左衛門が宇二良の分か水道に神様をお祀りして待ち伏せし、武田の小隊を襲ったというのでおれの松を八幡様に一本、若宮八幡様に一本と二本植えたものが一本は枯れ、もう一本が大きく育って唸り松になったと、昔は言われとったんだげな。

さて、三河で最大、時代を変えたと云われる加茂一揆(天保七年(1836)の9月21日〜25日)の時のごとく、その頃花園村松本(花沢町東松本)に足跡大島陣屋の

絵と文
ながさ
びー

加茂一揆は、天保七年(1836)9月21日夜 滝脇石御堂に集結し、滝脇村庄屋を襲うと、下山の長峰村(花沢5区)にやって来た。



石川家の家臣である河合源兵衛の屋敷があつた。下山にも40人とも伝わる揆が深夜長峰村(花沢5区)へやって来て、夜明けに新井の酒屋目野屋を打ち壊し、大沼でもめづることを起こし、折地の庄屋を打ち壊した頃には、下山や周辺の村々からの参加者があつて60人にも人がふくらんじ、たつたと言ふてある。「揆がやってくるぞ」と聞いた源兵衛は、松平太郎左衛門に兵の助けを借りて、昔の松平太郎左衛門にあやかつて分か水道の宇尼羅松の元に神様を祀り潜んであつた。だが、待つてあると、どえらな数の一揆勢は松の根方で休み清水で潤うと東の松本方面へは向かはず北の日明に通じる山道へとさつて行つただげな。

これは天のご加護だと松はなみ崇められ、毎年お祭りをさかしたとつた。

このお話は古い村誌の伝説の項にあつて、今人づてには伝つてないお話ですが、昔の人が書き置いてくれたお話です。